

《本会の目的》

学校保健の研究と普及発達
およびその施策に寄与する

《本会の事業》

1. 学校保健の文教施策に対する協力
2. 学校保健の全国・地方ブロック大会の開催
3. 学校保健思想の普及啓発
4. 学校保健の調査研究
5. 学校保健事業の企画実践
6. 学校保健関係者の指導と研修
7. 学校保健施設の経営助成
8. 学校保健資材の斡旋
9. その他必要な事業

The School Health (No. 92)

学校保健

財団法人 日本学校保健会会報

昭和47年5月1日発行

(隔月発行)

発行 日本学校保健会

可児 重一

東京都港区芝西久保
明舟町10

電話 (501) 3785

振替口座東京 98761

価額 1部50円 (送料共)

昭和47年度開催の行事

| 文部省学校保健課 |

課長補佐 馬 上 真 平

さわやかな五月の風に吹かれて、新しいランドセルを背負つて元気で登校する新入生を見る時、この子ども等が健康で元気に今後の学校生活を送ることを願わないものはない。

文部省においても児童生徒の健康を保持増進するため、各種の施策を講じているが、その中で、今年度も学校保健関係者の資質向上等のために次のような研究会、講習会等を開催することとしている。

(1) 第22回全国学校保健研究大会

今年度の学校保健研究大会は九月二日、三日、四日北国の百万都市札幌において「人間尊重の未来社会をめざして」という標題で開催される。本年度の大会の領域別研究においては現在全国的な問題になつてゐる公害の問題、安全の問題、性の問題、精神衛生の問題等について協議することになっている。

(2) 資質向上講習会

学習指導要領の改訂により保健指導が充実強化されたが小学校、中学校、高等部学校の教科担任の保健に関する知識技能の向上をはかるため、教科における保健の指導内容、指導方法について中央と地方に分けて講習会を開催するものである。指導主事、校長、教諭を対象として七月五日、六日、七日、東京都において中

央講習会の開催を予定しており、その後、各都道府県において、地方講習会を実施していくことになる。

(3) 学校保健研究協議会

この研究協議会は学校保健の各領域の指導者が専門的内容について研究協議を行ない資質の向上を図るうとするものであり、校長、保健主事として九月頃東京都で、学校保健技術者を対象として十一月十六日、十七日東京都において開催する予定である。

(4) 学校保健講習会

この講習会は学校保健関係者の職務の重要性にかんがみ、その実務に必要な専門的内容について研修を行なうその指導力を高めようとするものである。養護教諭を対象として六月六日、七日、八日に岩手県でまた六月十四日、十五日、十六日には山口県で開催する予定であり、保健に関し、指導主事、校長、保健主事、教諭、養護教諭、学校歯科医を対象として九月十二日、十三日に東京都で、また九月十九日、二十日香川県で開催することを予定している。

昭和47年度学校保健・学校安全関係予算主要事項一覧

事 項	47年度予算額	備 考
公立小中学校児童生徒の健康増進特別事業の助成に必要な経費	千円 132,250	1. 特別健康診断費 20,700千円 対象校 460校 1校当たり @ 135千円 (1/3補助) 2. 健康増進特別事業費(移動教室) 111,550千円 対象校 460校 1校当たり @ 1,455千円 1/3補助 実施率1/2
へき地学校設備等整備費補助	41,740	1. 携帯用歯科用ユニット等整備費 18,500千円 5ヶ年計画の2年次 (1)携帯用歯科用ユニット 30組 @ 1,000千円 1/3補助 2. 保健室整備費 20,000千円 5ヶ年計画の1年次 100校 1校当たり @ 400千円 1/3補助 3. 給水施設整備費(沖縄分) 3,240千円 シユミレーターによる交通安全指導の効果的な指導方法の調査研究等 一定の疾病を有する要保護、準要保護児童の医療費の補助 1/3補助
交通安全教育指導の調査研究 要保護及準要保護児童生徒援助費補助(医療費)	6,808	へき地学校の児童生徒の健康診断、健康新聞等のため医師、歯科医師、薬剤師を派遣する経費の補助 1/3補助 公立の義務教育諸学校の校長および教員の結婚に関する健康診断に要する経費の補助 1/3補助
へき地学校保健管理費補助	154,212	46ヶ所 @ 1,200千円 1/3補助
公立義務教育諸学校の教員の健康診断に必要な経費 交通安全教育センター補助	20,552	事務費(人件費、物件費)および要保護、準要保護児童生徒の共済掛金の補助
日本学校安全会補助	34,673	
	27,600	
	564,987	

(5) 交通安全指導者講習会

学校における交通安全管理の充実

強化のため行なうものであり、交通

安全指導主事、教諭を対象として、交通

昭和47年度行事予定

《本会関係》	2. 第7回東北地区学校保健大会
全国学校保健研究大会	岩手県 8月10日(木)11日(金)
会場 札幌市	3. 第23回九州地区学校保健
期日 9月2日(土)~4日(月)	研究協議大会
都道府県・指定都市	福岡市 8月3日(木)4日(金)
学校保健会合同協議会	4. 第18回中国地区学校保健
会場 札幌市 期日 9月1日	研究協議大会
評議員会	島根県 11月11日(土)12日(日)
会場 札幌市 期日 9月1日	5. 第23回関東甲信越静学校保健大会
定例理事会	栃木県 11月11日(土)12日(日)
会場 虎の門共済会館	6. 第20回北陸3県学校保健
期日 5月22日(月)	研究協議会
《地区関係》	富山県 10月3日(金)4日(土)
1. 第23回七大都市学校保健協議会	《職域関係》
北九州市 5月28日~29日	全国学校医研修会

期日 6月24日(土)25日(日)
会場 東京ヶ谷保健会館
学校歯科衛生研究協議会
期日 10月9日(月)
会場 秋田市
全国学校薬剤師研修会
期日 5月25日(木)26日(金)
会場 岐阜市民会館
《会報関係》発行
92号(5月1日発行)
93号(7月1日発行)
94号(9月1日発行)
95号(1月1日発行)
96号(3月1日発行)

本会の活動活発化のために

目的と事業は明確に示されている。しかし、この具体化については、現状では「もっと活発な活動をすべきである」という意見が多い。

とするならば、本会設立の原点に立ち帰り、過去をかえりみ、会の目的達成のために、何をどうすべきかについて、とくと考える必要があると思う。

1. 第四条に規定されている各事業は、具体的には何なのか。従来の活動だけでは不十分だとするならば、どんな仕事でもが期待されるのか。

2. それにしても、事業をするにはかかるが、必要なから、第五条に規定されている本会の資産作りが急務であると思う。このためには、いかなる具体的策で、いかに実施したらよいか。全加盟団体・全会員のご理解とご協力をお願いして、本会の財政の確立を図る必要がある。

3. 文部省・全加盟団体・全会員相互の連絡提携協力ということが肝要だと考えられるが、この具体策はどうしたらよいのか。

4. 現在では個人会員・賛助会員がきわめて少数である。したがって、今後は、関係各位のご協力をいただきたい。重要な本会の目的達成のために、一人でも多くの賛同者の方々の積極的なご入会をお願いする必要があると思う。

以上の他、いろいろあるうかと思われるでの、ご指摘方お願意したい。

昭和47年度都道府県・指定都市学校保健会合同協議会の開催

予告

1. 主旨

第22回全国学校保健研究大会の開催を機会に、各都道府県・指定都市学校保健会代表の参加を得て積極的な学校保健の推進および振興をはかるための協議を行なう。

(3) 提出期限
長 昭和47年6月15日(木)まで

(4) 提出先(学校保健会合同協議会関係回答と表記する)
北海道札幌市北3条西6丁目

〒060 北海道教育厅指導部
保健体育課内

北海道学校保健会事務局あて
電話 011-231-4111 内線三六七一

9. 運営について
(1) 議長団 北海道学校保健会長
富山県学校保健会長

(2) 結果処理
合同処理委員会(議長団構成母体より編成)において処理し、次年度において報告する。

(3) 長 前日とした。各学校保健会代表者は必ず出席されますよう。
中間報告する。

5. 会場 昭和47年9月1日(金)
13・00~14・30
日本生命札幌ビル 8階大会議室
札幌市北3条西4丁目1番地
(電話代表 241-7946)

6. 参加者 各都道府県・指定都市の学校保健会ごとに3名以上6名以内

7. 申込方法 別紙様式により出席者名簿を提出する。

8. 協議題等について

訂正

(1) 協議題
① 現行の学校保健制度を充実するための条件整備(人的および物的)の問題についての協議題
② 学校保健の関連および周辺の領域を含む明日の諸問題についての巾広い協議題

(2) 協議題提出者
各都道府県・指定都市学校保健会

虚弱児・腺病質など発育の悪い幼小児に

パンビタンペレー[®]
パンビタンペレーチョコレート

☆ほかに…パンビタンA液・強力パンビタンA・強力パンビタンゴールド



…天皇誕生日の佳日に…

叙勲の栄誉に輝やく人々 学校保健功労者

勲五等双光	旭日章	原田 嘉武	71才 (東京都)
勲五等瑞	宝 章	福島 憲一	80才 (福島県)
勲五等瑞	元県歯科医師会理事	中谷 勝治	78才 (滋賀県)
勲五等瑞	元県歯科医師会理事	田中米二郎	76才 (長野県)
勲五等瑞	元県学校保健会会长	仲井 芳雄	75才 (石川県)
勲五等瑞	元県学校保健会会长	見元恵喜馬	75才 (高知県)
勲五等瑞	元県学校保健会会长	利吉 岐阜県	75才 (岐阜県)
勲五等瑞	元県学校歯科医会副会長	坪田 忠一	73才 (富山県)
勲五等瑞	元県学校歯科医会顧問	浜田 比徳	73才 (鳥取県)
勲五等瑞	元県歯科医会理事	石上 小平	73才 (広島県)
勲五等瑞	元県歯科医師会会長	米村 尹孝	71才 (千葉県)
勲五等瑞	日本学校薬剤師会理事	影沢 銀七	80才 (栃木県)
勲五等瑞	日本学校薬剤師会理事	古賀 賢一	77才 (佐賀県)
勲五等瑞	元県学校保健会会长	横地 紀一	72才 (愛知県)
勲五等瑞	元県学校保健会会长	古河千代美	74才 (北海道)
勲五等瑞	元県学校保健会会长	木田常三郎	81才 (和歌山县)
勲五等瑞	元県学校保健会会长	祐治	74才 (岩手県)
勲五等瑞	元県学校保健会会长	大治 安	72才 (宮崎県)
勲五等瑞	元県学校保健会会长	79才 (長野県)	74才 (愛知県)
勲五等双光	元県学校保健会会长	70才 (福岡県)	70才 (福岡県)

学校保健の積極的展開のために
第21回全国学校保健研究大会報告書
シンポジウムから

1 学校保健の今日的課題

- (1) 学校が地域社会から隔絶した別世界であるという印象を第三者に与えていないか。保健所は地域社会の健康の問題に関しているいろいろな責任と指導性をもつてゐるが、学校が教育といふのみ旗にかゝれて接触が十分にとれてゐるか。医師会、歯科医師会、薬剤師会等と学校とのこんなたる融和がとれてゐるか。
- (2) 学校教育の中で学校保健がどういう立場にあるか。学校教育の本流からはずされていやしないか。子どもの健康問題が教育をしていく上に不可欠であると十分承知しながら、現に生きている子どもたちの健康管理は別の世界のものがしてくれるという印象を与えていないか、つまり学校保健、保健指導が何か学校教育とは別の、外からの力でやられていたように思われる。
- (3) 子どもの健康問題についての重点が現在は変化しつゝある。乳児死亡率、伝染性疾患、感染症の低下によって代表される子どもの健康状態の向上は、果たして病気がなくなつた状態といえるか疑問。痛い、苦しいといふ病気でなく、むしろ病状のない潜行的に進行する疾患が増加しつゝあるのではないか。

2、学校保健の方向

- (1) 地域社会にとけこむよう 子どもの健康問題、疾病管理は、地域社会における医療機関の進歩発達を無視しては成立しない。
- (2) 子どもたちの受身の健康管理を重点に進められてきた学校保健は、もつと保健教育的な色彩を強くする必要がある。疾病があるから処置するというだけでなく、それを土台に健康に対する意識、自分たちで健康を維持増進していくことの必要を自覚させる努力が必要。つまり教育的な健康管理・健康診断という方向にもつていく必要があらう。
- (3) 健康問題と疾病の発見ということが大切。これからの健康診断の重点は、表にてた疾患というより、むしろ健康診断を機に、かくれた疾病、たとえば慢性腎炎などを発見する。大気汚染による健康障害といつても、すぐ死に結びつくとかいうものではない。だから健康診断の中の日常観察の重視、臨床検査、潜在的疾患発見のための高度な公衆衛生的スクリーニングの高度な検査技術の導入などが当然必要となる。
- (4) 積極的に環境に打ち勝つて伸びてゆく、たくましい意欲的な子にすく体力増強・健康管理・疾病予防活動がもつと融和されることが必要。

プールの殺菌・消毒に

日曹ハイクロン

錠剤・顆粒剤

サッと溶ける顆粒剤と、持続性の錠剤の併用により、有効で経済的な殺菌消毒ができます。

きれいな
水で
泳ごう！



日本曹達

第22回 全国学校保健研究大会の構想

……人間尊重の未来社会をきりひらく……

札幌大会 9月2日(土)3日(日)

研究大会の基本方針について

第22回全国学校保健研究大会が、9月2日から3日間にわたりて、北國百万都市札幌において開催するようになりました。

北海道大会は、過去の研究大会の結果としてきた役割や成果を正しく評価し、人間尊重の未来社会をきりひらく心身ともに健康な児童・生徒を育成するとともに、未来を志向する学校保健および学校安全の創造をめざしながら、当面する課題の解決を求めようとするものであります。したがつて、北海道実行委員会では、この大会を運営するに当たつてつきの基本方針をたてて、準備をすめております。

(1) 運営の中心を班別研究協議会におき、学校保健研究大会の性格を明らかにする。

(2) 学校保健の当面する問題を明らかにし、趣旨、標題、研究活動の一貫性を図るとともに、領域、班構成を再構成し、研究の成果がじゅうぶんあがるよう配慮する。

(3) 参加者全員が積極的かつ主体的に研究活動に参加し、その成果にじゅうぶん満足できる大会とする。

(4) 学校保健の水準向上にじゅうぶん貢献できる大会とする。

保健研究大会要綱

1 趣旨
学校保健および学校安全の当面する諸問題について研究協議を行ない現代をたくましく生き抜き、人間尊重の未来社会をきりひらく、心身とも

2 標題
人間尊重の未来社会をきりひらく
学校保健、学校安全の創造をめざして

3 標題設定の理由
社会経済の著しい変革は、国民生面、人間の幸福の基調である健康を阻害し、安全を脅かす新らしい要因をひき起こしている。

したがつて、このような事態に積極的に対処し、現代をたくましく生き抜き、人間尊重の未来社会をきりひらく心身ともに健康な児童・生徒を育成することは、学校教育の重要な課題となつてきている。

こうした現状認識に立つて、過去の研究大会の成果を正しく評価し、さらに未来を志向する学校保健および学校安全の創造をめざしながら、当面する課題の解決を求めようとするものです。

札幌大会の特色

北海道の学校保健会報において、道学校保健会長は、札幌大会の特色として次の点を挙げている。

1. 日程がゆつたりとして、研究討議が十分に進められるよう工夫したこと。

2. 参加者のために、研究討議の参考資料一手引きといったものを作成し、研究討議が深められ積上げとなるよう工夫していること。

3. 参加者相互の資料交換即売会を設けようとしていること。今回は都道府県学校保健会長が推せんする出版物、資料に限り展示、有料交換の場を全体会場内に特設の予定。

3 染出しによる保健学習の実践

(1) 歯みがき指導と歯垢検査
・毎月一回学校行事の中に入組み入れ、学級単位の指導と学習の実施

1. 日程がゆつたりとして、研究討議が十分に進められるよう工夫したこと。

2. 参加者のために、研究討議の参考資料一手引きといったものを作成し、研究討議が深められ積上げとなるよう工夫していること。

3. 参加者相互の資料交換即売会を設けようとしていること。今回は都道府県学校保健会長が推せんする出版物、資料に限り展示、有料交換の場を全体会場内に特設の予定。

本稿は名古屋市教委発行「教育医学」第18巻第1号所載のものを「市教委の『二解』のもとに抜粋し転記させていたゞくものである。」

名古屋市学校歯科医会 田熊恒寿

学校歯科保健 管理と指導の調和

White & White

白い歯 かがやく歯のためにホワイト・アンド・ホワイト

新歯磨

105g 120円

（株）ライオン歯磨

○ 大会日程 ○	時間 期日	9.00	10.00	11.00	12.00	13.00	14.00	15.00	16.00
		受付	日本学校保健会評議員会			昼食	都道府県・指定都市学校保健会合同協議会	受付	職域別会合
前 日 (9月1日)									大会運営説明会
第1日 (9月2日)	受付	開会式 表彰式		記念講演	昼食 アトラクション		シンポジウム		班別運営打合せ会
第2日 (9月3日)	受付		班別研究協議会	昼食		班別研究協議会			閉会式
第3日 (9月4日)		視					察		

4 参加申込
参加者については、各都道府県・
指定都市教育委員会でとりまとめ、
所定の申込書に会費、宿泊予約金を
添えて、大会事務局あて5月31日ま
でに必着するよう送付すること。

5 会費
会費は大会資料、報告書ならびに
昼食代（2日・3日）を含め、1人
当たり、八〇〇円とする。

6 研究の進めかた
(1) 前述の標題を達成するために
領域別研究においては、特殊教
育・へき地学校に関する問題を
各班別構成の中に含めて5領域
34の研究班を設け、現在、全国
的な問題になつてゐる公害の問
題、安全の問題、性の問題、精
神衛生の問題について、ご協議
をいただくことになつております。
なお、班別研究協議会の領
域および班構成は、つきのとお
りです。

第1領域 保健教育（1～10班）
第2領域 安全教育（11～15班）
第3領域 健康診断・環境衛生
（16～27班）
第4領域 校内・地域の組織活
動（28～32班）
第5領域 環境と健康・安全
（33～34班）

(2) シンポジウム
班別研究協議会に先だつてシ
ンポジウムの関連を密にし、成
果を一層高めるために、各領域
の指導者である5名の先生に、成
果的な展開をめぐる諸問題につ
いてご意見ご指導をいたゞく

(3) 研究の手びき
北海道実行委員会では、会員
の皆様に事前の研究をじゅうぶ
んに行なつていただき、本大会
の成果を一層高めるために、「班
別研究協議題の観点に応じた研
究の進め方」を中心に研究の手
びきを作成しましたので、じゅ
うふんに活用されることを切望
いたします。

(4) 資料交換即売会
本年度は、都道府県・指定都
市学校保健会長の推せんする出
版物、資料に限り展示有料交
換の場を全体会場内に特設する
ことになつています。

(3) 指導方法
・教師 染出し液 吐
・物容器 2人に1個 記録名簿
・手鏡 食器
・染出し液を含み、30秒間ブクブ
クうがいを容器に吐き出させる。
・水で一度だけうがいさせる。
・手鏡で歯垢の染まつた状態を観
察させ、隣りの児童と比べさせる。
・歯の染色状態を歯みがき成績表
とおりです。

(4) 指定基準
○印 よい、着色部分なし
△印 ふつう、一部着色残
×印 よくない、歯面全体着色



大会会場 北海道厚生年金会館

●女子生理教育用カラースライド

日本学校保健会監修

カラーオートスライド (66カット・15分、録音テープ、台本、マニアルつき)

「いつものあなたのために」

—月経の知識と正しい手当て—

■ 内容

月経の仕組みとはたらきを中心に、
月経についての考え方や生活管
理の方法をわかりやすくまとめて
あります。

■ 無料でお貸しいたします。
(実費にても頒布)

お申込みまた、使用上の詳細について
は、下記へ、お問合せ下さい。

東京都港区港南2-6-10ミツ矢ビル
株式会社 チャーム企画室
TEL 03(474)2031

第六回国際学校保健学術会議

名古屋市学校保健会長 館野 久
・会期 46・8・23～26 4日間
・会場 リスボン大学
・出席 日本学校医会会長岩尾泰次
郎氏外23名、なお、日本から43名の
養護教諭が初参加
・旅行概況 8月14日羽田発、北極ま
わりで目的地へ。途中美しいオーロ
ラに眼を輝かしながら、翌15日正午
パリ着、午後自由行動
16日、国際学校保健会本部訪問、
職員10名、就学前児童のじまん話
もきいたが、これは日本の三才児健
診のこと、崎型係がある。これは日
本でも早くほしいと思う。
17日、ジュネーブに飛ぶ。18日は
アルプスの巨峰モンブラン見学、午
後ローマへ。21日までローマ滞在、
22日リスボン着、国際会議場視察。
23日、国際会議開会式、五百名参加
後議長招待のレセプション。
24・25日スペイン観光
26日閉会式
27・28日、リスボンからロンドン
に飛び、チームス川畔のマウントロ
イヤルホテルに入る。川には清澄な
水満々として大魚の遊泳を見る。日
本人が多く、旅先の異国での話合は
うれしい限り。29日帰途につく。
(「教育医学」より抜粋)

立川市第五小学校校医 清水清輔
・会議内容 大会の議題としては
1種々の教育段階における学校保
健業務の構成と実施方法
2種々の教育段階における学校保
健担当者の使命

3種々の教育段階における児童生
徒の病態心理 であった。
・日本出題の要旨
1日本教育の基本目的は、心身共
に健康な人間を育成することにあり
学校保健は、この目的達成のために
推進されなければならない。
2日本の児童・園児・児童生徒及
び学生の健康状態の傾向としては、
体位は著しく向上した反面、体力は
伸びず、また肥満児と病弱児が目立
つ。一九五〇年頃から結核・トラコ
ーマ、結膜炎、皮膚病、寄生虫病は
著減したが、他方虫歯、心臓病、気
管支喘息その他精神衛生上の問題が
増加。
3難聴、弱視、虚弱児、肢体不自
由児や精神薄弱児のリハビリテーシ
ョンや教育施設が課題となってきた
4教師に対しては、年一回の健康
診断、又35才以上の者に対しては、
成人病検査施行、精神的疾患者の増
加に注目の要あり。

5日本の学校の健康管理は、学校
保健法により、校長の下、保健室を
中心にして実施され、保健室には養
護教諭が常駐し、校医の指導と相ま
って運営される。
6今後の学校保健の動向とビジョ
ンとしては、従来の学校保健をさら
に進展させ、健康の増進と体力の強
化、そして公害時代の今日では、学
校保健は地域全体として解決する必
要がある。

以上その他、日本の学校保健の機構
組織をパンフレット二部に英訳して
開会式当日全員に配付した

ヤング会長は全員に対し、日本

の業績をたたえ、感謝を表明した。

(立川市学校保健会誌より抜粋)

(前頁からつづく)
3種々の教育段階における児童生
徒の病態心理 であった。

協議

次に各都道府県の代表者、役員並
びにオブザーバーの会員による活発
な協議が行なはれた後森広吉副会長
の閉会の辞によつて定刻少し過ぎ終
始なごやかな雰囲気のうちに終了し
た。

学校保健年表

ご希望の方に進呈します

・内容 明治4年文部省設置後、
昭和42年までの制度中心の年表で
文部省の委任により本会で編さん
中の「学校保健百年史」資料の一部
です。

・加盟団体・個人会員および賛助会
員(第四章)
・内 容 本会寄附行為 より
・内 容 加盟団体・個人会員および賛助会
員(第四章)
・内 容 本会寄附行為 より

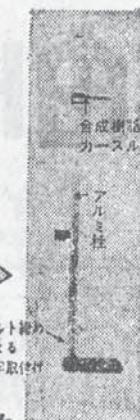
目盛のない身長計 座高計

日本学校保健会会員

特長

- ①正確 曲率の凹凸が数字で度数計に表示
- ②迅速 1名あたりの測定時間は従来のものと
比較して約半分
- ③耐久力 最低10万回迄測定
機械はアルミ製、曲率チューンはピアノ線
部品使用もできる。

デジタルで
目盛を読む疲労を追
放 目盛の読み違い



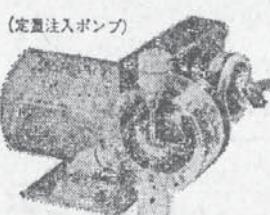
特許申請中

★仕様 固定範囲 40~200cm
最小取扱範囲 1mm
座高(椅子)上下作動範囲 34~145cm
定 價 29,500円
上・下座長測定部品 4,000円

Nフィーダー

塩素滅菌機として始めて日本学校保健会推薦品となりました

定量性・耐久性ともす

ぐれ保守管理はだれに
でも容易にできます。

CS-100型

学校の水泳プール

・飲水の塩素滅菌
にご利用下さい。

日本フィーダー工業株式会社

大阪事業本部 大阪市西区土佐堀町23 大阪商ビル TEL (06) 441-5181
東京支店 東京都練馬区北町2丁目24番3号 光光ビル TEL (03) 931-5361
本社・工場 兵庫県尼崎市森生野町1999 TEL (0796) 9993-31

総発売元 ヘルス商事株式会社
福岡県福岡市博多駅前1-11-14 TEL 092(41)8661~5

東京地区発売元 船本商事株式会社
東京都杉並区成田東2-14-2 TEL 03(313)4662

製造元 遠藤電子工業株式会社
東京都品川区南大井6-19-11 TEL 03(764)0259

